

## 17 石 舞 台

住吉区住吉 2(住吉大社)

- ▶ 日本三舞台(住吉大社・巖島神社・四天王寺)のひとつで重要文化財に指定されています。毎年5月の卯之葉神事では、雅びでのごそかに舞樂が行なわれます。



## 18 川端康成文学碑

住吉区住吉 2(住吉大社)

- ▶ 川端康成の文学碑があり、次のような記載があります。

反橋は上るよりもおりるほうがこはいものです。

私は母に抱かれておりました。

「反橋」 川端康成



川端康成文学碑

## 19 反 橋 ( 太 鼓 橋 )

住吉区住吉 2(住吉大社)

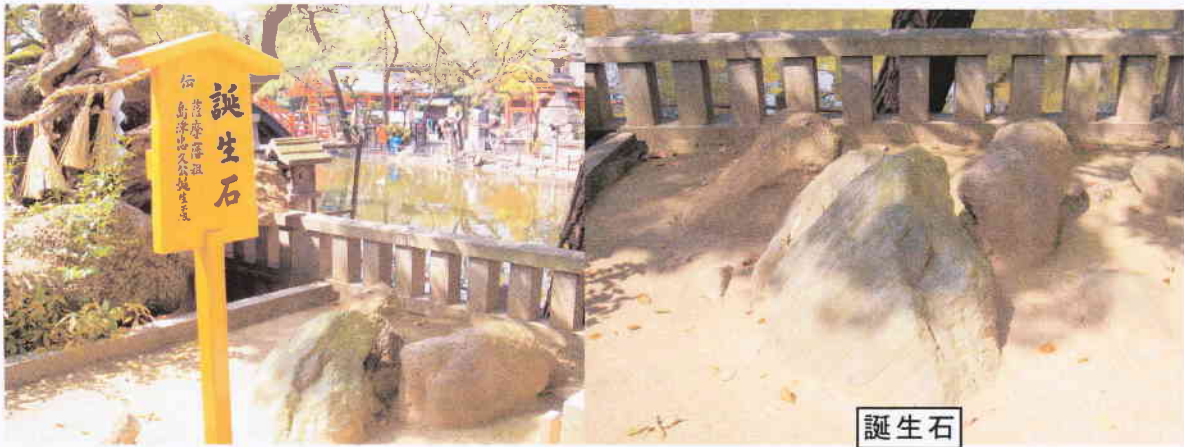
- ▶ 反橋は住吉の象徴として大変有名で太鼓橋(たいこばし)とも呼ばれています。昔は、この橋の近くまで波が打ち寄せられていたそうです。川端康成氏が、小説『反橋』で「上るよりもおりる方がこはいものです」と書いたことでも知られています。



## 20 薩摩藩祖 島津忠久誕生の地(誕生石)

住吉区住吉 2(住吉大社)

- ▶ 源頼朝の妾・丹後局(たngoのつぼね)が出産した場所として伝えられ、その子が薩摩藩「島津氏」の始祖・島津忠久公です。この伝説が語り継がれて、今でもここで安産を祈る人々が絶えないそうです。



誕生石

### 丹後局(たngoのつぼね)

比企能員の妹が丹後局です。丹後局は、源頼朝の寵愛を受け身ごもりますが、頼朝の妻・政子の逆鱗(げきりん)に触れ、政子に追放されます。

西国へ下る途中、摂津国住吉の住吉神社(現在の住吉大社)の境内で男子を出産します。

雨の降る夜更けのことで、狐が火を灯し無事に出産を終えたと伝えられています。

その子は三郎と名付けられ、母・丹後局の再嫁先である惟宗広言(これむねひろこと)のもとで養育されました。七歳のとき、父頼朝と鎌倉で対面し、元服に際して、畠山重忠より一字を得て惟宗忠久(これむねただひさ)と名乗ります。

## 21 豊臣秀頼ゆかりの鳥居

住吉区住吉 2(住吉大社)

- ▶ 慶長年間に豊臣秀頼が片桐且元を奉行として建立させた鳥居です。



## 22 後醍醐天皇ゆかりの車返しの櫻

住吉区住吉2(住吉大社)

- ▶ この付近に津守家の菩提寺だった慈恩寺(明治になり廃寺)に住吉名勝の「車返しの櫻」と呼ばれる桜がありました。  
車返しの由来は、後醍醐天皇が住吉大社に来られた際、この桜をご覧になり、通りすぎて再び車を返してご覧になり、愛でられたという故事によります。  
当時の桜は枯れましたが、平成11年「未来樹」として、京都嵯峨野の紅八重桜を移植しています。



## 23 阪堺電気軌道株式会社

- ▶ 阪堺電気軌道株式会社は、昭和55年(1980)12月1日に南海電気鉄道株式会社から軌道部門を別会社として分離・独立させることとなった際に設立されました。  
大阪府内で走る唯一の路面電車として親しまれています。  
現在は阪堺線(恵美須町～浜寺駅前)と上町線(天王寺駅前～住吉公園)が運行されています。  
以前、平野線、大浜支線などの路線がありましたが現在は廃止されています。



今回は大阪市住吉区の史跡をご紹介します。  
次回もご期待ください。